

# 日刊水産通信に 『イムバランス』が取り上げられました。

日刊水産通信に、「アレルギー疾患に有効性確認 ニチモウ子会社の麹菌発酵大豆培養物」と題し、イムバランスが取り上げられました。

2010年11月15日(月)

日刊水産通信

水産通信社発行

## アレルギー疾患に有効性確認

### ニチモウ子会社の麹菌発酵大豆培養物

ニチモウの100%子会社・ニチモウバイオテック社(石井知見社長)は十一日、同社の開発素材である麹菌発酵大豆培養物(商品名・イムバランス)が、米国の共同研究や国内における共同研究及び臨床試験で、アレルギー疾患への有効性が確認されたと発表した。

#### アトピー性皮膚炎抑制 花粉症の改善・予防も

米国ニューヨークにあるマウンツサイナイ医科大学との共同研究では、ピーナツアレルギーモデルマウスに対する療法的な効果として確認。食物アレルギーに対する潜在的な新療法の可能性があるとした。研究論文は英国の「Clinical and Experimental Allergy」誌に掲載された。国内では、多くのアレルギー新薬開発に重要な前臨床試験を行ってきた国立東京農工大大学院農学研究院の松田浩

アレルギー疾患の人向けに発売する考え。また、合成化学物質無添加なサプリメントも同時に新発売を予定。三年後に原料出荷ベースで年間五トンを目指す。

珍教授らのグループとの共同研究で、アトピー性皮膚炎自然発症モデルマウスを用いて有効比較試験を実施。2%投与群では皮膚炎症状の悪化抑制及び引つ掻き行動数の増加抑制が認められ、皮膚炎スコアが有意的に低下。皮膚の水分蒸散量も顕著な低下が認められた。イムバランス投与群は軟膏塗布群とほぼ同等の傾向を示す結果となった。

さらに所沢耳鼻咽喉科で花粉症予防効果のパイロット臨床試験の結果、八五%有効性を確認。くしゃみ、眼のかゆみ、なみだ目、鼻水などの症状が改善。花粉ピークシーズンで症状スコア全体平均が前年に比べ大幅に改善したことなどが示された。研究成果は英国の「Clinical and Experimental Allergy and Pharmacology and Physiology」誌に掲載された。同社は十二月一日からイムバランスを原料として新たに